



なっとくんの

# なるほどなっとくニュース

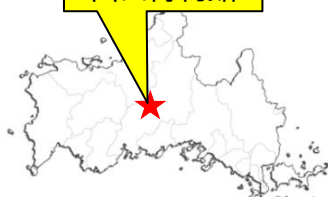
Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

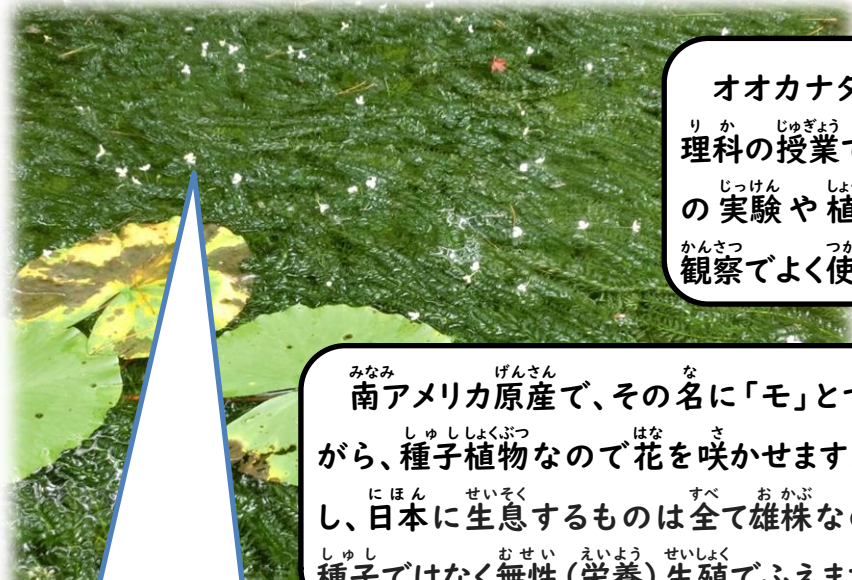
## オオカナダモ



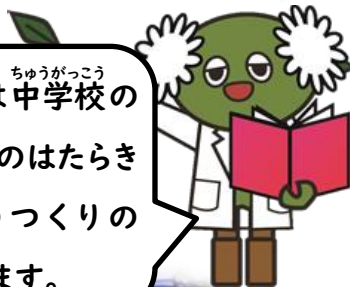
やまぐちほくぶつかん  
山口博物館



山口博物館の庭にある池に、7月ごろからオオカナダモの小さな白い花が水面にたくさん咲いています。ペットショップなどで水草として販売されていますので、花は見たことがなくても、その葉には見覚えのある人は多いのではないのでしょうか？



オオカナダモの葉は中学校の理科の授業で、光合成のはたらきの実験や植物細胞のつくりの観察でよく使われています。



南アメリカ原産で、その名に「モ」とつきながら、種子植物なので花を咲かせます。ただし、日本に生息するものは全て雄株なので、種子ではなく無性(栄養)生殖でふえます。

オオカナダモの細胞(400倍)



1mm



低水温や水の汚れに強く、日当たりのよい小川などでは一気に繁殖します。その結果、在来種と生活場所が重なってしまい、水辺の生態系の破壊につながってしまうことがあります。

調べてみよう



オオカナダモは、日本生態学会が定めた「日本の侵略的外来種ワースト100」にふくまれ、環境省が作成した「生態系被害防止外来種リスト」では「重点対策外来種」に指定されています。

- オオカナダモをふやさないようにするために、私たちができることは何か考えてみよう。